

経営比較分析表（平成29年度決算）

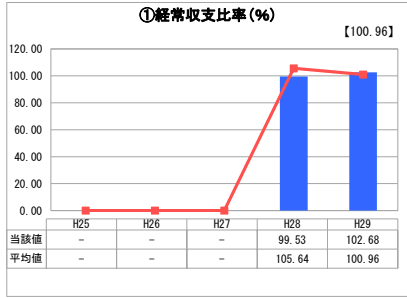
神奈川県 平塚市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	52.10	1.18	93.70	1,998

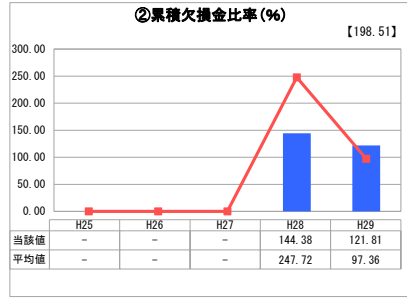
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
257,615	67.82	3,798.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,035	1.24	2,447.58

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

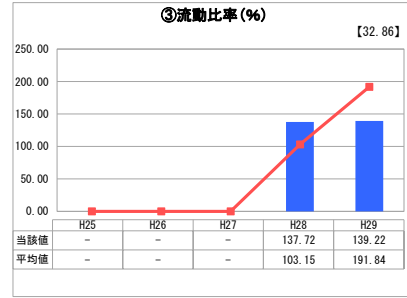
1. 経営の健全性・効率性



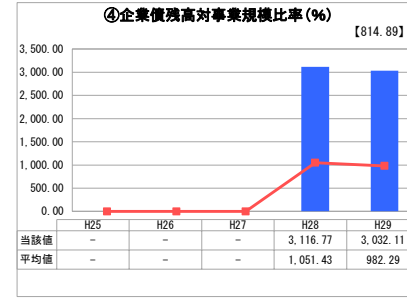
「経常損益」



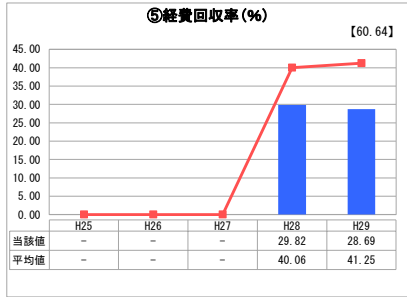
「累積欠損」



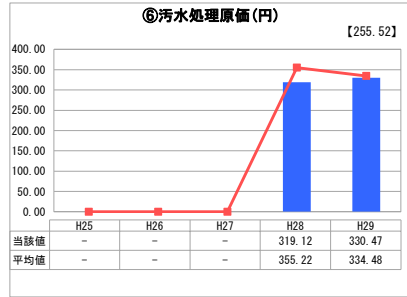
「支払能力」



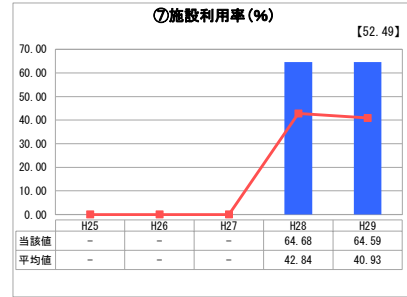
「債務残高」



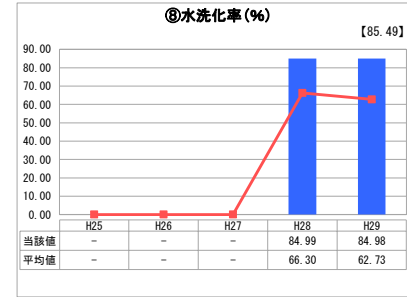
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

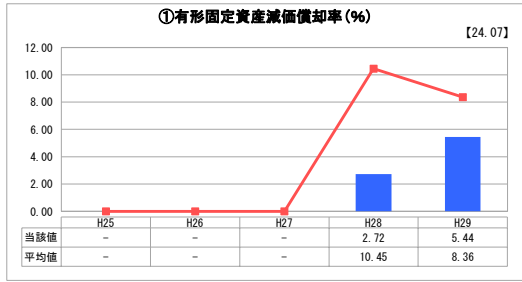


「施設の効率性」

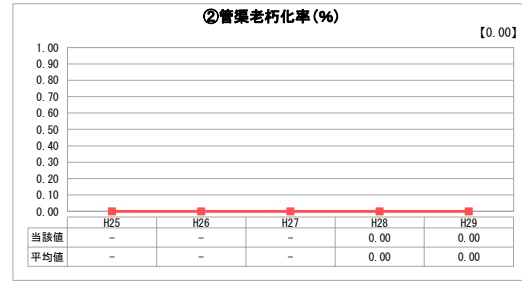


「使用料対象の捕捉」

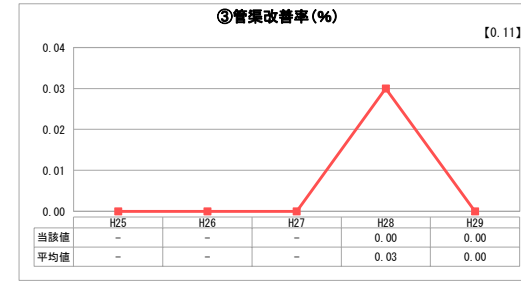
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、単年度収支が黒字となり、② 累積欠損金比率は累積欠損金が減少したことから、改善されました。
⑦ 施設利用率及び⑧ 水洗化率は全国平均及び類似団体平均を上回っていますが、⑤ 経費回収率は全国平均及び類似団体平均を下回っているため、課題であると捉えています。
④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債の新規借入れがないことから、低減傾向となる見込みです。
⑥ 汚水処理原価は概ね類似団体平均並みですが、全国平均を上回っていることから、引き続き、未接続世帯に対する接続促進に取り組み、有収水量の増加に努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率及び② 管渠老朽化率については、整備が完了しているため新たな固定資産の取得がなく、また、事業供用開始からの経過年数が短いことから、③ 管渠改善率とともに、現状では老朽化に関する喫緊の課題はないため、当面は施設の管理を適切に行っていくことが重要であると考えます。

全体総括

各指標からは、経営環境としては非常に厳しい状況下にあると考えます。
継続率向上、累積欠損金の解消や経費回収率の改善等の課題に取り組み、経営の効率化を図りながら、中長期的な視点で経営に取り組んでまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。